

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年10月25日(2018.10.25)

【公開番号】特開2017-118385(P2017-118385A)

【公開日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2017-024

【出願番号】特願2015-253253(P2015-253253)

【国際特許分類】

H 0 4 R 1/06 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 1/06 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月10日(2018.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

金属メッシュ M 5 0 は、マイクロホンユニット M 2 0 と、マイクロホンユニット M 2 0 と接続したマイクロホンコード M 4 0 の前端側の一部と、共にマイクロホンケース M 1 0 に収納される。金属メッシュ M 5 0 は、マイクロホン M の内周面に取り付けられ、マイクロホンケース M 1 0 の内側から後部音孔 M 1 2 h を覆う。コードブッシュ M 3 0 は、マイクロホンケース M 1 0 の開口に嵌合されて、マイクロホンケース M 1 0 の開口を後方から塞ぐ。マイクロホンケース M 1 0 は、コードブッシュ M 3 0 と、ねじで締結される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 1】

固定部材 6 0 は、音響透過部材 5 0 をマイクロホンケース 1 0 の内部に固定して、マイクロホンケース 1 0 の開口の一部を覆う。固定部材 6 0 は、マイクロホンケース 1 0 に収納されたコード接続部材 4 0 や音響透過部材 5 0 などが、マイクロホンケース 1 0 の外部に抜け出るのを防ぐ。固定部材 6 0 は、音響透過部材 5 0 の後方側に配置される。固定部材 6 0 は、板状であり、リング部 6 1 と当接部 6 2 とを備える。固定部材 6 0 は、例えば、C R 形止め輪である。リング部 6 1 は、中央に挿通孔 6 1 h を有するリング状である。当接部 6 2 は、リング状の周縁から斜め後方に向けて放射状に延出する。リング部 6 1 は、当接部 6 2 と一体に形成される。当接部 6 2 は、マイクロホンユニット 2 0 の内周面に当接する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 6】

連通路 7 3 h は、空間 S とマイクロホンケース 1 0 の外部とを連通させる。つまり、マイクロホンケース 1 0 の外部は、連通路 7 3 h と固定部材 6 0 の当接部 6 2 間の空間と音

響透過部材 5 0 と貫通孔 4 3 hとを介して、空間 S と連通する。